

商工研 提携セミナー

日本生産性本部 主催

次世代経営幹部育成プログラム (CLP)

- 経営戦略や財務等の「経営リテラシー」に加え、経営者との交流から「リーダーシップ」のあり方を学び、リベラルアーツから意思決定のための「大局観」を鍛えます
- 「自社の全社戦略・事業戦略」の構想・発表を通じ、経営幹部として持つべき視点を体感しながら、プログラムでの学びを実践知として定着させます

プログラム構成

1. 経営リテラシー(理論)

経営者に必要なマネジメントスキルを修得するため、関連テーマ群について学びます。ビジネススクール形式(ケースメソッド)や講義形式(企業事例含む)を組み合わせ実践的な修得を図ります。

2. リーダーシップ(実行力)

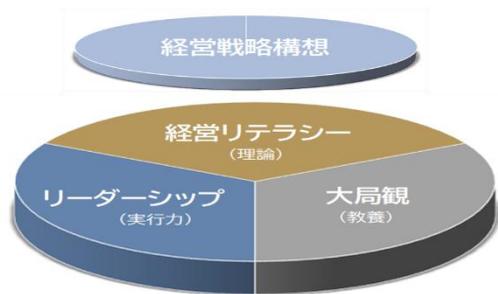
リーダーシップおよびマネジメントの講座および著名経営者をお招きして、企業経営の実践や経営観について対話を行います。

3. 大局観(教養)

経営幹部としての資質を高めるうえで必須となる「歴史観」「哲学的思考」「宗教観」「経済思想」など、意思決定の基軸構築を促すべく、幅広いテーマを学びます。

4. 経営戦略構想

経営リテラシー、リーダーシップ、大局観で磨いた力を活かし、自社の全社戦略・事業戦略を構想・発表します。経営コンサルタントでもあるコーディネーターによる指導と併せ、個人活動ならびに受講者である他社幹部との相互研鑽を通じて現実的な戦略を練り上げていきます。



派遣責任者の声

- 他社から選抜された経営幹部候補者との他流試合を通じ、その考え方や能力・スキルに触れ、今後の成長につながるような刺激を受けてもらいたい。
- 自身の経営幹部としての能力を客観視し、経営幹部として視野を広げ、視座を高め、一層の能力向上を図ってもらいたい。
- 経営トップへの登竜門として位置づけ、選抜人材を継続的に派遣している。
- ユニークなリベラルアーツの要素を通じて、企業経営・社会を重層的・多角的に探究する視点や直感的に捉える感性、構想力、創造力を養ってもらいたい。

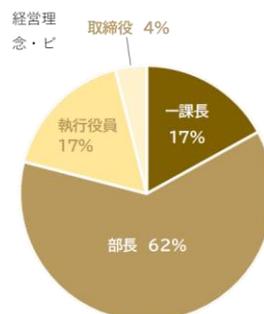
受講者の声

- 「経営者との交流」を通じて、経営者の持つ「深み」を知り、自分もこれらを身に付けていきたいと思った。
- 「大局観」を通じて、問いに対して今までと異なった角度からの思考のアプローチや、新しい思考の枠組みを得られたことが特に有意義だった。
- 業務機会を通じて学んだ知識や、独自に勉強して習得した知識を棚卸する機会となった。特に演習を通じて、受講者間で様々なことを議論できたのが刺激的だった。
- 自分の意見やアイデアに対して率直に意見を言ってくれる、バックボーンの異なる人が周りにいてくれたこの半年間は、とても貴重な経験だった。プログラムは終了したが、同じ時間を過ごしたメンバー達との交流はこれからも続けていきたいと思う。

コーディネーターのコメント 村岡 伸彦

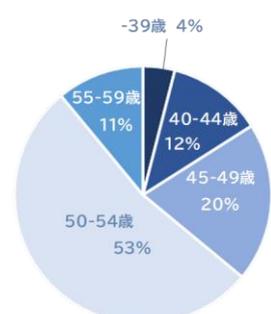


経営幹部として必要な経営リテラシー・リーダーシップ・大局観を学び、その知識を活かして全社戦略を策定する経営戦略構想に取り組んでいただきます。約7カ月間、かつ事前課題も毎回あるため、大変負荷もかかるプログラムです。ただ、全てやり遂げた最後の皆様の発表は、毎年素晴らしい内容となっており、次世代の幹部としての自覚を深める目的としても是非活用いただければと思います。



受講者役職

次代の役員として活躍が期待される部長クラスが中心。



受講者年代

直近3年の受講者

主な過去派遣企業 (順不同)

- ・清水建設株式会社
 - ・大和ハウス工業株式会社
 - ・高砂熱学工業株式会社
 - ・カナデビア株式会社
 - ・三菱マテリアル株式会社
 - ・株式会社クラレ
 - ・積水化成工業株式会社
 - ・久光製薬株式会社
 - ・株式会社ニチレイ
 - ・鈴木株式会社
 - ・株式会社アイシン
 - ・株式会社 SUBARU
 - ・ブラザー工業株式会社
 - ・三菱電機株式会社
 - ・フジテック株式会社
 - ・八洲電機株式会社
 - ・今治造船株式会社
 - ・東急株式会社
 - ・静岡ガス株式会社
 - ・株式会社 JSOL
 - ・KDDI 株式会社
 - ・SCSK 株式会社
 - ・株式会社 STNet
 - ・播州信用金庫
 - ・ソニーカスタマーサービス株式会社
 - ・パナソニック産機システムズ株式会社
 - ・株式会社立花エレクトック
 - ・株式会社商工組合中央金庫
 - ・株式会社日本政策金融公庫
 - ・株式会社かんぽ生命保険
 - ・日本郵政株式会社
- 他多数

特徴

- **他社から選抜された経営幹部候補者との相互啓発・研鑽**
相互啓発・交流を通じ、異質な視点を理解していただきながら、ご自身の価値観やビジネススキルの相対的位置付けを学びます。
- **卓越した講師陣との知的交流**
講師には経験豊富な企業経営者・実績のある研究者・専門家をお招きし、ディスカッションを中心に進めます。
- **政治経済の潮流の理解と経営者との交流**
最新の政治経済・企業経営などを学べる、経営トップを対象とした月例会(P.16)にご参加いただけます(希望制)。
- **座学のみでない、参加型の学び**
一方的な講義だけでなく、グループ討議やクラス討議、講師との質疑応答を通じて、さまざまな視点から物事を見る目を鍛えます。

「経営戦略構想プログラム」で、「経営リテラシー」「大局観」「リーダーシップ」の学びを実践につなげる

プログラムの期間内で、現在の社内外の環境等を基に、今後の自社の「全社戦略」または「事業戦略」を最終成果物として作成していただきます。
経営戦略構想を進めるにあたり、経営コンサルタントによる指導に加え、メンター(自社の経営トップ層より選定)からアドバイス、受講者間のディスカッションを通じて、経営幹部として求められる戦略構想力を磨き上げます。

- step 01 経営理念・ビジョンの確認、経営環境分析(講義)
- step 02 戦略テーマ・事業ドメイン・戦略目標の設定(各自構想/グループ討議)
- step 03 ビジネスモデルの検討・戦略施策の具体化・収支予測(各自構想/グループ討議)
- step 04 経営戦略の最終化(各自構想/グループ討議)
- step 05 プレ発表・最終報告会(各自構想/全体討議)

2026年度から、さらに「交流」を重視したプログラムに

2026年度より、約半年間にわたる本編に加え、「軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」への参加がプログラムとして追加となります。他社経営幹部と交流する機会を増やすことで、様々な刺激を受けながら、次世代経営幹部としてさらに視座を高めていくことを目指します。

2026年8月～2027年2月

次世代経営幹部育成プログラム(CLP) で体系的に学ぶ

約半年間にわたって、様々な企業から選抜された人材とともに、経営幹部に求められる視点・視座や、具体的な能力・スキルを学習。

2027年7月

軽井沢トップ・マネジメント・セミナー での交流を通じ、視座を高める

フォローアップとして、「軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」に参加。CLPを受講した同期と交流も深めながら、多彩な分野の経営者・有識者との対話、他社経営幹部との交流・ネットワークづくりを通じ、さらに視座を高めます。

開催日程・参加費用等

1名あたり 消費税 10%込

開催日程・スケジュール

合計18日	2026年度内 計16回	2026年8月～2027年2月 (月2回程度開催)
	2027年度内 計2回	2027年7月 (軽井沢トップ・マネジメント・セミナー参加(2日間・予定))

参加費 (税込)	商工研会員		一般(参考)	対象者	経営幹部並びに経営幹部候補の方
	通常	2,200,000円	2,420,000円		
早期割引	1,980,000円	2,200,000円	定員	36名	

※ 合宿費含まず

申込に関するお問い合わせ 商工中金経済研究所 (03) 5473-6915
セミナー内容に関すること 日本生産性本部 コンサルティング部 経営開発センター (03) 3511-4030